

そらこめ通信 No.46 2014.05発行

日頃より弊社のコメをお買い上げいただき誠にありがとうございます。心よりお礼を申し上げます。
4月中旬ごろまで寒い日が続いていましたが、後半は好天に恵まれ半年ぶりのぽかぽか陽気に心が弾んでいます。4月末に近づき、道内でも少しずつ桜の便りが聞こえ始めました。この分だと、ゴールデンウィークを含めればしばらくは行楽日和が続きます。

さて、弊社では4月16日から今年の水稲の種まきを開始して25日午前中にすべて終えました。思えば昨年の今頃は残雪が多く、種まきについては4月20日からの開始でしたが、今年はそれより4日ほど早く始めたこととなります。種まきを終えた今は苗の管理に気を配る毎日です。

一般的に言えば、育苗の管理は苗を移植する側である圃場の状態を考えながら行わなくてはなりません。移植に適した気候になる時期に合わせてハウスの苗が長くもなく短くもなくベストの状態に成長するように仕向け、さらに同じタイミングで圃場を田植えのできる状態に整え終える必要があるわけです。実をいうと、このところ気温が比較的高めの日が続いていて、水田の融雪は順調に進んでいるのですが、それ以上に育苗ハウスの中の苗の生育が進みすぎることが懸念されております。耕作面積などから田起こしや代かきにかかる作業日数を計算すると、ハウスの中に時々冷気を入れるなどして、苗の生育を抑え気味にするなどの工夫が必要のようです。田起こしはゴールデンウィーク明け早々から始める予定です。その後は、代かき、田植えと続きます。その間の天候も含め、作業が順調に進むことを祈るばかりです。



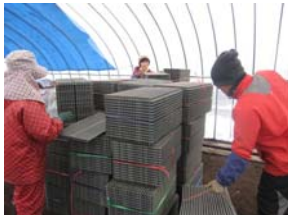
水稲の播種(種まき)に使う土を作る作業(左)と灌水パイプをつなぐ作業(3月29日)



安全シールを頂いてきました(4月1日)



種もみの重さを量り小分けする(4月1日)



育苗ポットの準備(4月5日)



ハウスの中の耕起作業(4月8日)



播種に向けてハウスの仕上げ(4月9日)



4月11日早朝、雪が降りました～今年は3月から4月中旬まで寒い日が続きました。



播種機の準備(4月11日)



積雪が30センチまで下がったのを見届け雪上から心土破砕をする(4月12日)



4月16日、水稲の播種作業を開始しました。1番手は「ななつぼし」。



播種を待つ種籾たち(4月16日)



並べた育苗ポットを圧着させる作業(左)と播種が終わったハウス(中)(4月16日)



雪解けを待つ田んぼ(4月16日)



リフトで育苗ポットを運搬(4月22日)



発芽した「ななつぼし」(中)とこの日播種した「ゆめびりか」(右)(4月22日)



今年はエルニーニョ現象の傾向がみられるとの新聞報道がありました。太平洋高気圧の張り出しが弱くなることで北日本などでは冷夏が予想されるとのこと。「農業関係の方は注意してください」という締めくくりで記事が終わっていました。今、できることと言えば深水管理にむけての畦畔の整備くらいでしょうか。天候だけは例年通りに推移してほしいと切に願う今日この頃です。

これからも安全で美味しいお米の生産に努めますので、引き続きご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

インターネットで美味しいお米♪

(株)空知こめ工房 ホームページ
<http://www.sorachi-kome.jp/>
ブログ「生産日誌」更新中です